

仙台黒川支部

【令和6年度活動方針】

1. 地域ネットワーク交流会や管理者ネットワークを充実させ、施設間の連携を深め、情報共有を図る。
2. 会員のニーズに沿った研修会を企画開催し、会員相互の交流を推進する。
3. 地域との交流事業として、「看護の日」や「まちの保健室」を継続する。

【令和6年度活動成果と今後の課題】

当支部は施設規模の大小、保健行政、教育機関、個人会員と多面的な視点から活動企画する必要がある。定期活動の情報交換はもとより、交流会による地元で働く会員の関心や働き甲斐のリフレクション、リラクゼーションは会員間が繋がる機会になるため活動を継続する必要がある。更に看護の質向上のための研修、出向、「まちの保健室」では地域住民に体験型ワークショップを設けて交流する機会を持った。結果、住民のヘルスケアニーズの関心に役立つ保健活動が実践できた。会員増対策では、役員間でヒアリングを行い、離脱しない取組みを整理した。今後も協会本部に現場の声を反映する働きかけをしながら会員、管理者との連携強化を行う必要がある。

1. 組織運営に 関すること	(1) 支部総会 日 時：令和6年4月13日（土） 場 所：宮城県看護協会 会員数 2,057名 出席者 24名、委任状 1,422名にて成立： 予算や活動報告による監査が必要ではないかという疑義が生じたが、期中会計報告をもって承認を得ることにより、了承され終了した。 (2) 役員会・委員会開催（5/7、5/18、6/22、7/6、8/3、9/21、1/25、3/22） 8回を委員会同時開催にて運営した。県看護協会と支部合同会議：理事会後の企画開催のため合同会議の開催無し		
	(1) 教育研修 日 時：令和7年1月25日（土） 場 所：宮城県看護協会 テーマ：看護職のリラクゼーション “三浦さんの家”的おうちで簡単ストレッチ＆カジュアルセルフインパケア 講 師：三浦教子氏 参加25名		
	(2) 研修会 日 時：令和7年3月22日（土） 場 所：看護協会 施設管理者の交流会事業共催 テーマ：看護師のメンタルヘルスケアと離職予防 講 師：宮城大学看護学群 平泉拓氏 参加者：27名		
	(1) 看護週間行事「看護のひろば」 テーマ：看護の心の普及 日 時：令和6年5月18日（土） 場 所：アエル、仙台市内4支部合同開催 内 容：塩味テスト、支部内養成学校4学校の紹介進路相談 参加者：150名 (2) まちの保健室の開催 日 時：令和6年8月24日（土） いづみふるさと祭り 会 場：七北田公園 内 容：保健広報 血管年齢、ストレス測定、血圧測定と保健指導 参加者：156名 (3) 地域との交流事業 日 時：令和6年4月13日 研修会と同時開催 内 容：災害時の対応指針能登半島地震派遣：災害派遣ナースの活動について 講 師：泉区保健福祉センタ保健師 佐藤 沙也果氏、 JCHO仙台 病院太田雄介（協会災害支援ナース）・ 板乘亜矢（皮膚排泄ケアCEN） 会 場：看護協会 参加者：24名		
4. その他	(1) 支部活動の広報 ① 広報活動 「看護みやぎ」への記事掲載、 支部だより発行2回/年 及び看護協会 H P 支部の掲載		
決 算	会計区分	当年度予算	当年度決算
	I 公益目的事業会計（研修・まちの保健室等）	466,000円	334,504円
	II 収益事業等会計（支部だより発行等）	24,000円	0円
	III 法 人 会 計（総 会 ・ 委 員 会 等）	353,000円	339,366円
	計	843,000円	673,870円